

小牧市地域公共交通網形成計画(現計画)の評価

1) 事業の評価・検証

施策1 公共交通ネットワークの構築

<事業 1-1> 路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づく運行の実施

対象路線:「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

事業内容:多様な公共交通のニーズに対応するため、路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づくサービス水準での運行を実施する

実施主体:名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

※都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少により減便されたダイヤについては、感染収束に伴って、利用状況に応じて復便とダイヤ改正が実施された。 名鉄バス桃山線は、平成16年10月から国・県の補助対象路線となっていたが、利用者数の伸び悩みのため令和3年10月1日をもって廃止された。 	△

<事業 1-2> こまき巡回バスの平日用、土日祝日用ダイヤの設定

対象路線:「生活交通軸(バス)」に該当する全路線

事業内容:定時性確保のため、道路の混雑状況に配慮した平日用、土日祝日用ダイヤを設定する

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 定時性確保のため、道路の混雑状況に配慮した平日用、土日祝日用ダイヤを令和2年12月のこまくる再編時に設定した。 	○

<達成状況の凡例>

○小牧市公共交通網形成計画で定めた事業内容のとおり事業を実施した。

△小牧市公共交通網形成計画で定めた事業内容を一部変更して実施した。または継続して実施中である。

×小牧市公共交通網形成計画で定めた事業内容のとおり事業を実施できていない。

<事業 1-3> 各鉄道駅へのアクセス利便性の向上

対象路線:「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」に該当する路線のうち、鉄道駅へ乗り入れている路線

事業内容:広域移動ニーズに対応するため、鉄道駅へのアクセス利便性の向上に向けたルートの見直しや鉄道との乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

実施主体:名鉄バス、あおい交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 各バス路線が鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤを設定した。 近距離高速バス桃花台線の市内乗降が可能となった。 名鉄バス桃山線が利用者数の伸び悩みのため、令和3年10月に廃止された 	△

<事業 1-4> 隣接市町コミュニティバスとの連携した運行

対象路線:「生活交通軸(バス)」、「隣接市町コミュニティバス」に該当する全路線

事業内容:小牧市内と隣接市町間の移動ニーズに対応するため、路線バスやこまき巡回バスと隣接市町コミュニティバスが連携し合うルートやダイヤを設定する。

実施主体:犬山市、豊山町、北名古屋市、春日井市、大口町、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年12月のこまくる再編時に広域の移動ニーズに対応するため、隣接市町(春日井市、北名古屋市、豊山町、大口町)のコミュニティバスなどと連携し、新たにバス停を設置した。さらに隣接市町へのアクセス利便性が向上するよう令和4年3月にこまくるのダイヤの見直しを実施した。 春日井市:上田楽、間内駅 北名古屋市:青山高添 豊山町:青山高添 大口町:替地、東海理化前、藤ノ木橋 ※犬山市とは引き続き連携を実施:田県神社前駅、久保一色北 	○

<事業 1-5> 名鉄小牧線の利便性向上

対象路線:「南北鉄道軸」

事業内容:拠点間連携や、名古屋市・犬山市方向への都市間移動ニーズに対応するため、名鉄小牧線について、全線複線化、小牧駅以北の増便、高架化事業の推進等の検討、及び平安通駅以南延伸の働きかけを長期的な視点から継続的に実施する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 名鉄小牧線の全線複線化や高架化、平安通駅以南の延伸についての要望活動を長期的な視点から継続的に実施した。 	○

施策2 交通結節機能の強化

<事業2-1> 小牧市民病院、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリーのバス停の集約化

対象バス停:小牧市民病院(小牧市民病院前バス停、小牧市民病院バス停、小牧市民病院南バス停)、桃花台センター(桃花台センターバス停、桃花台センター(上)バス停、桃花台センター(下)バス停、桃花台センター東バス停)、中央道桃花台バス停前ロータリー(中央道桃花台バス停、桃花台東バス停、大城バス停)

事業内容:乗り継ぎをより円滑にするため、小牧市民病院、桃花台センター、中央道桃花台バス停前ロータリーについて、交通結節点として乗り入れ路線のバス停位置及びルートを変更し、集約化する。

実施主体:名鉄バス、あおい交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年12月のこまくる再編時に小牧市民病院南側ロータリーの整備に伴い、こまくる、名鉄バス、とよやまタウンバスのバス停の集約化を実施した。 小牧市民病院ロビーにこまくる、名鉄バス、とよやまタウンバスの運行状況を表示できるようデジタルサイネージを設置した。 引き続き、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリーの集約化等の対策を行っていく。 <p>→バス停の集約化により、乗り継ぎが円滑にできるようになった。デジタルサイネージでバスの運行状況が確認できるようになり、待合環境が向上した。</p>	△

<事業2-2> 交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定

対象バス停:小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島に乗り入れている路線のうち、「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

事業内容:乗り継ぎをより円滑にするため、各交通結節点において、路線間の乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

実施主体:名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

※都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎを円滑にするため、令和2年12月のこまくる再編時に、小牧駅や小牧市民病院、桃花台センター等の交通結節点について乗り継ぎを考慮したダイヤを設定した。 令和4年3月の一部路線等の見直しにより桃花台から小牧市民病院への乗継を考慮したダイヤの見直しを行った。 <p>→乗り継ぎがより円滑にできるようになった。</p>	○

<事業2-3> 交通結節点での待合環境の充実

対象交通結節点:小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島

事業内容:乗り継ぎの負担を減らすため、各交通結節点において、最寄りの商業施設や公共施設との連携、及び上屋やベンチ等の整備により、バスやタクシー及びその他送迎車両の待合環境の充実を図る。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に小牧市民病院にバスロータリー、タクシーロータリーを整備し上屋やベンチ等を設置した。 ・令和2年12月のこまくる再編時に新設した小牧市役所バス停にベンチを設置した。 ・令和2年度にこまくるの小牧駅バス停にベンチを増設した。 ・令和3年度に藤島団地内のベンチのある公園に隣接した場所にバス停を設置した。 ・令和4年度にこまくるの味岡駅バス停にベンチを増設した。また交通結節点以外にも、乗り継ぎポイントとなるラピオ前、市民会館南のバス停にシェルターとベンチを設置したほか、利用の多い城見橋東バス停にベンチを設置した。 <p>→乗り継ぎの負担が軽減するとともに、待合環境が充実した。</p>	○

<事業2-4> 交通結節点での乗り継ぎに関する不安の解消

対象交通結節点:小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島

事業内容:乗り継ぎの負担を減らすため、各交通結節点において、乗継案内を掲載した総合案内板の設置、乗り継ぎ情報の提供、タクシー乗り場案内板の設置、タクシーの配車依頼先の情報提供等を実施する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・小牧駅、味岡駅、小牧市民病院、桃花台センター（上）及び田県神社前駅にこまくるの路線案内看板を設置した。 ・小牧市民病院ロビーにこまくる、とよやまタウンバス、名鉄バスの運行状況を表示するデジタルサイネージを設置した。 ・令和2年度に整備した小牧市民病院ロータリーに、タクシー乗り場案内看板を設置した。 ・広報こまきに各地域から市民病院や四季の森などの公共施設までの乗継ルート例を掲載したほか、他市町のコミュニティバスとの乗り継ぎ情報など、乗り継ぎに関する記事を掲載した。 ・令和4年度にGTFSデータを整備し、新たにGoogleマップでルートや時刻表の検索ができるよう整備するとともに、市ホームページに路線図や時刻表を掲載し、インターネット上での乗換案内サービスの情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅すばあと for web (株式会社ヴァル研究所) ・ 乗換案内 (株式会社ジョルダン) ・ NAVITIME (株式会社ナビタイムジャパン) ・ 駅探 (株式会社駅探) ・ Google マップ (Google 社) 	○

施策3 公共交通の利用促進

<事業3-1> 公共交通マップや時刻表による情報提供

事業内容:よりわかりやすい情報を提供するため、情報の種類を充実させる。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月、こまくるガイドと地域公共交通マップを統合し、より利用者に分かりやすい路線図・時刻表を作成した。 外国の方にも読んでもらえるよう、こまくるガイドのローマ字版を作成した。 見やすさに配慮したこまくる拡大版時刻表や、持ち運びに配慮したこまくるポケット版時刻表を作成した。 各民間路線バスや他市町のコミュニティバスの時刻表等を都市整備課窓口で配布したほか、イベント時にも配布した。 	○

<事業3-2> 多様なツールによる情報提供

事業内容:利用者が情報をより得やすくするため、多様なツールにより情報を提供する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度にバスロケーションシステムを導入した。令和3年度にシステムの画面を利用者にわかりやすいよう改修を行った。 令和2年度に市民病院ロビーにこまくる、とよやまタウンバス、名鉄バスの運行状況を表示するデジタルサイネージを設置した。 広報こまきに市内民間バス事業者のバスルートに掲載したほか、新型コロナウイルス感染症に対する各バス事業者の感染防止対策の取組みや利用者が減少した公共交通を応援する記事を掲載した。 令和3年度から4年度にかけて市ホームページのレイアウトを見直し、より分かりやすく情報提供を行った。 令和4年度、GTFS データを整備し、新たに Google マップでルートや時刻表の検索ができるよう整備するとともに、市ホームページに路線図や時刻表を掲載し、インターネット上での乗換案内サービスの情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅すばあと for web (株式会社ヴァル研究所) ・ 乗換案内 (株式会社ジョルダン) ・ NAVITIME (株式会社ナビタイムジャパン) ・ 駅探 (株式会社駅探) ・ Google マップ (Google 社) 	○

<事業3-3> モビリティ・マネジメント

事業内容:普段公共交通を利用していない方に利用してもらうため、ふれあう機会を作る。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・小牧市国際交流協会に協力をいただき、外国人向けバスの乗り方教室を開催した。 ・令和4年度からは、外国人ふれあいフェスタに参加し、啓発活動とバス乗り方案内を行った。 ・市民まつりやいきいきこまき等のイベントで啓発活動とあわせて、運転手体験やバスや電車の塗り絵やお絵描き等を行った。 ・地域や市民団体の会合で出前講座を行った。 ・名古屋経済大学で小牧市の公共交通について講座を行った。 	○

<事業3-4> 地域や学校との連携

事業内容:公共交通に親しみをもってもらうため、地域や学校と連携した取り組みを実施する。

実施主体:名鉄バス、あおい交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の児童や生徒の絵画をこまくる車体にラッピングするとともに、受賞作品を公共施設やこまくる車内に展示した。 ・名鉄バス間内岩倉線の沿線の区や小中学校に、間内岩倉線の利用促進につながるチラシを配布した。 ・市民まつりやいきいきこまき等のイベントで啓発活動とあわせて、運転手体験を行ったほか、子ども向けにバスや電車の塗り絵やお絵描きを行った。 ・地域や市民団体の会合での出前講座を行った。 ・名古屋経済大学で小牧市の公共交通について講座を行った。 	○

<事業3-5> 交通事業者との連携

事業内容:公共交通に親しみをもってもらうため、交通事業者と連携しPRを実施する。

実施主体:名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄バス、あおい交通、タクシー事業者等と連携し、市民まつりやいきいきこまき等のイベントで啓発活動とあわせて車両の展示や、バスの乗車体験などを実施した。 	○

<事業3-6> 未利用者へのPR

事業内容:移動方法の一つとして検討してもらうため、公共交通を知ってもらう機会を作る。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から妊産婦を対象にこまくるに無料で乗車できる「マタニティフリーパス」を配布した。 小牧市ウォーキングアプリ「alko」やこまきこども未来館と連携した、こまくるの無料乗車を実施した。 広報こまきに市内民間バス事業者のバスルートに掲載したほか、新型コロナウイルス感染症に対する各バス事業者の感染防止対策等の取組みや利用者が減少した公共交通を応援する記事を掲載した。 令和3年度から4年度にかけて市ホームページのレイアウトを見直し、より分かりやすく情報提供を行った。 転入者に対し、市民窓口課において公共交通マップの配布を行った。 名鉄バス間内岩倉線の沿線の事業所や医療機関、店舗等に同路線の周知や公共交通マップの配布を行った。 	○

<事業3-7> 鉄道駅のバリアフリー化

対象 駅:小牧口駅、田県神社前駅

事業内容:高齢者や障がい者等の移動制約者にとっても利用しやすい公共交通とするため、対象駅についてバリアフリー化を実施する。

実施主体:名古屋鉄道

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に小牧口駅にエレベーターを整備した。 名鉄小牧線の市内各駅のエレベーター整備などのバリアフリー化は完了したが、引き続き利用者の利便性向上に向け、関係機関に要望活動等を実施した。 	○

<事業3-8> 駅前広場及び自転車等駐車場の整備

対象 駅:市内各鉄道駅

事業内容:より使いやすい鉄道駅とするため、駅前広場、駐車場、自転車等駐車場等の環境を整備する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に小牧口駅前広場及び自転車等駐車場を整備した。 令和4年度に桃花台線のインフラ撤去工事に伴い、小牧駅東に仮設駐輪場を整備した。 平成30年度、31年度に味岡駅の自転車等駐車場を増設した。 令和4年度に小牧口駅自転車等駐車場、東田中自転車等駐車場に利用に関する注意看板を設置した。 自転車等駐車場に放置された自転車について、市条例に基づき撤去等を行った。 	○

<事業3-9> 交通系ICカード利用環境の整備

対象路線:「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

事業内容:利便性向上のため、他の公共交通機関と互換性のあるICカードの利用環境整備を検討する。

実施主体:名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

※都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄小牧線、名鉄バスが交通系 IC カード (manaca) の利用環境を整備したほか、令和 4 年度に名鉄小牧線の全駅で manaca 券売機を整備した。 ・こまくる、あおい交通 (ピーチバス、桃花台バス) については、地域版 MaaS アプリの導入を検討する。 	○

<事業3-10> 観光振興にかかるPR

事業内容:観光において公共交通を利用してもらうため、関連した事業を実施する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・小牧市民まつり開催日にこまくるの利用料を無料にするなど、イベント開催時の公共交通利用を促進するとともに、令和 4 年度からはこまくる以外の公共交通も利用してもらえるよう市民まつりのチラシに各民間路線バスの利用案内を掲載した。 ・市民まつり、バラアジサイまつり、いきいきこまき等の市内イベントでの啓発活動を行った。市民まつりやいきいきこまきでの啓発活動では、名鉄バス、あおい交通、タクシー事業者等と連携し、車両の展示や、バスの乗車体験などを実施した。 	○

<事業3-11> 観光施設との連携

事業内容:観光施設及び公共交通の利用促進のため、観光施設と連携した取り組みを実施する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・小牧山や市民四季の森など、観光・レジャー施設を考慮したルート、ダイヤを設定した。 ・観光施設の割引チケットなどを利用できる地域版 MaaS アプリの導入を検討する。 	○

施策4 持続可能な交通サービスの提供

<事業4-1> 公共交通ネットワークの見直しの仕組みに基づく対応策等の実施

対象路線:「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」、「タクシー」に該当する全路線

事業内容:持続可能な交通サービスの提供のため、基本的な考え方を踏まえ、公共交通ネットワークの評価・検証の仕組みに基づき、対応策を実施する。

実施主体:名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度にこまくるの再編、令和3年度、5年度に一部路線等の見直しを実施した。 持続可能な交通サービスの提供のため、市民や利用者の声を聞き利便性向上を図った。 地域版 MaaS アプリの導入を検討し、民間路線バスとの連携強化の検討を行う。 	△

<事業4-2> 運賃体系のあり方の検討

対象路線:「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」、「タクシー」に該当する全路線

事業内容:市民や利用者のニーズや交通事業者との協議を踏まえ、経済的に維持が可能で、安定的・持続的なサービス提供が可能となる運賃体系を検討する。

実施主体:名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 路線バス・タクシーは、市民や利用者のニーズを踏まえ、安定的・持続的なサービス提供が可能となるよう、運賃改定を実施した。(タクシー:令和5年3月、名鉄バス:令和5年10月) 	○

<事業4-3> こまき巡回バスの収入源の確保

対象路線:「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」、「タクシー」に該当する全路線

事業内容:持続可能な交通サービスの提供のため、企業広告等により財源を確保する。

実施主体:小牧市

実施状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度にバス車体広告を2カ所増設したほか、バス車内デジタルサイネージ広告を導入した。令和4年度にバス車内音声広告を導入した。 <p>→こまくるの広告収入が増加し、市の運行負担金が減少した。</p>	○

※都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

2) 計画目標の評価

<評価の凡例>

- ：目標値を達成している。
- △：目標は達成していないが、基準値を上回って（下回って）いる。
- ×：基準値を下回って（上回って）いる。

将来像1 活力あるまちづくりを支える交通体系

基本方針1-① 小牧市内の拠点相互の連携強化に資する交通体系の構築

<目標 1-1> 拠点相互の公共交通利用者の増加

評価指標：中心拠点及び地域拠点の交通結節点相互をバスで移動する利用者数※1、※2

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
中心拠点及び地域拠点の交通結節点相互をバスで移動する利用者数	437 人/日	1,031 人/日	474 人/日	○

中心拠点及び地域拠点の交通結節点相互をバスで移動する利用者数は 1,031 人/日となっており、目標値を上回っています。

図 中心拠点及び地域拠点の交通結節点における日平均相互移動

		小牧駅	小牧駅西	ラビオ前	小牧市役所(前)	小牧市民病院	小牧市民病院東	小牧市民病院北	藤島	藤島団地	藤島団地中	とみづか	味岡駅	桃花台センター上	桃花台センター下・桃花台センター	桃花台センター東	中央道桃花台	日平均
中心拠点	小牧駅	0	0	86	44	78	2	5	2	2	0	1	9	66	5	0	0	300
	小牧駅西	0	0	2	0	6	0	0	0	0	0	0	6	8	1	0	0	23
	ラビオ前	78	6	0	16	38	0	0	1	2	0	1	17	37	9	0	0	205
	小牧市役所(前)	47	2	18	0	21	0	0	2	2	0	1	2	0	0	0	0	95
	小牧市民病院	81	6	42	23	0	0	0	3	6	2	3	9	8	1	0	0	184
	小牧市民病院東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小牧市民病院北	5	0	3	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	13
地域拠点	藤島	2	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	藤島団地	2	0	2	1	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	藤島団地中	5	0	5	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	13
	とみづか	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	味岡駅	7	7	7	2	10	0	0	0	0	0	0	0	13	8	0	0	54
	桃花台センター上	24	10	22	4	11	0	0	0	0	0	0	12	0	4	1	0	88
	桃花台センター下・桃花台センター	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7
	桃花台センター東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
中央道桃花台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均	283	32	189	91	174	2	5	11	14	2	7	57	135	28	1	0	1,031	

※1：利用者数の算出対象とした各交通結節点のバス停は、小牧駅周辺は小牧駅バス停、小牧駅西バス停、ラビオ前バス停、小牧市役所は小牧市役所前バス停、小牧市役所バス停、小牧市民病院周辺は小牧市民病院前バス停、小牧市民病院バス停、小牧市民病院南バス停（基準値）、小牧市民病院東バス停（現況値）、小牧市民病院北バス停（現況値）、味岡駅は味岡駅バス停、桃花台センター地区は桃花台センターバス停、桃花台センター（上）バス停、桃花台センター（下）バス停、桃花台センター東バス停、中央道桃花台は中央道桃花台バス停、藤島周辺は藤島バス停、藤島団地バス停、藤島団地中バス停（現況値）、とみづかバス停

※2：中心拠点及び地域拠点の交通結節点相互をバスで移動する利用者数は、路線バス（ピーチバス、名鉄バス）及びこまき巡回バスの合計値であり、基準値はバス利用者ヒアリング調査結果より算出。基準値の路線バスの利用者数は平成28年9月26日の実績値、こまき巡回バスの利用者数は平成28年9月4日～9月10日の平均値。現況値の路線バスの利用者数は令和5年11月17日～27日のバス乗降調査による平均値、こまき巡回バスの利用者数は事業者提供資料（令和4年12月～令和5年11月）を集計。

基本方針1-② 中心拠点の活性化を支援する交通体系の確立

<目標 1-2> 中心拠点における鉄道・バス乗車人数の増加

評価指標:中心拠点の交通結節点における鉄道・バスの日平均乗車人数^{※3、※4}

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
中心拠点の交通結節点における鉄道・バスの日平均乗車人数	6,733 人/日	7,862 人/日	7,769 人/日	○

中心拠点の交通結節点における鉄道・バスの日平均乗車人数は7,862人/日となっており、目標値を上回っています。

基本方針1-③ 集約型市街地形成を支援する交通体系の構築

<目標 1-3> 地域拠点における鉄道・バス乗車人数の増加

評価指標:地域拠点の交通結節点における鉄道・バスの日平均乗車人数^{※3、※5}

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
味岡駅周辺	2,289 人/日	2,569 人/日	2,704 人/日	△
桃花台センター地区	776 人/日	710 人/日	801 人/日	×
藤島地区	48 人/日	92 人/日	53 人/日	○

地域拠点の交通結節点における鉄道・バスの日平均乗車人数は、味岡駅周辺は目標を達成していないが基準値を上回っており、藤島地区は目標値を上回っています。一方で、桃花台センター地区は基準値を下回っています。

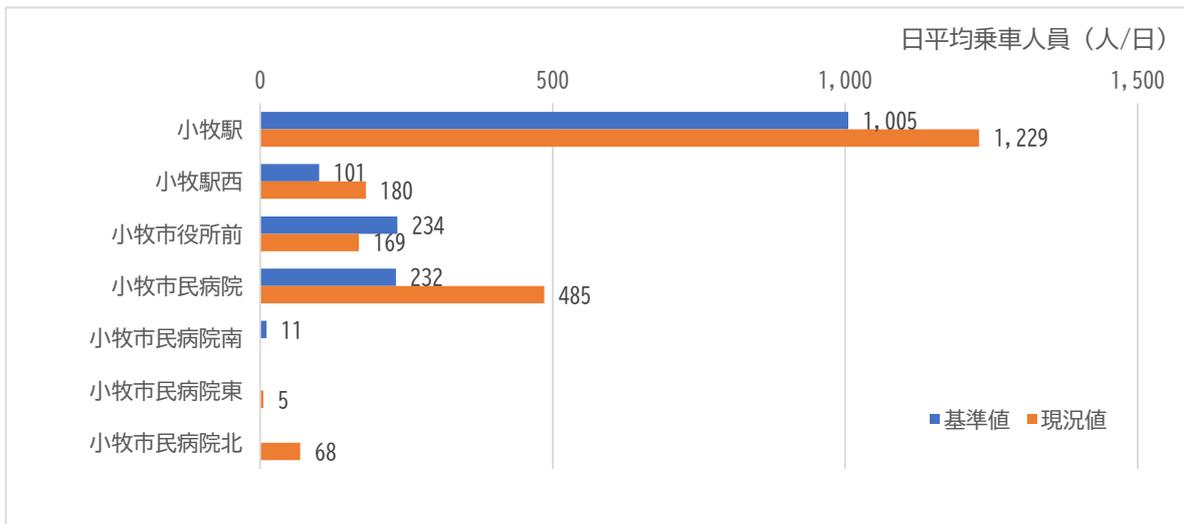
※3：日平均乗車人数は鉄道（名鉄小牧線）、路線バス（ピーチバス、桃花台バス、名鉄バス）、こまき巡回バス、高速バス（近距離高速バス、高速バス）の合計値であり、鉄道及び高速バスは事業者提供資料、路線バス及びこまき巡回バスはバス利用者ヒアリング調査結果より算出（鉄道の乗車人数は年間乗車人数を用いた平均値、高速バスの乗車人数は年間利用者数を用いた平均値）。基準値の路線バスの乗車人数は平成28年9月26日の実績値、こまき巡回バスの乗車人数は平成28年9月4日～9月10日の平均値。現況値の路線バスの利用者数は令和5年11月17日～27日のバス乗降調査による平均値、こまき巡回バスの利用者数は事業者提供資料（令和4年12月～令和5年11月）を集計。

※4：乗車人数の算出対象とした各地域拠点の駅及びバス停は、小牧駅周辺は小牧駅、小牧駅バス停、小牧駅西バス停、小牧市役所は小牧市役所前バス停、小牧市民病院周辺は小牧市民病院バス停、小牧市民病院前バス停、小牧市民病院南バス停（基準値）、小牧市民病院東バス停（現況値）、小牧市民病院北バス停（現況値）

※5：乗車人数の算出対象とした各地域拠点の駅及びバス停は、味岡駅周辺は、味岡駅、味岡駅バス停、桃花台センター地区は、桃花台センター（上）バス停、桃花台センター（下）バス停、桃花台センターバス停、桃花台センター東バス停、中央道桃花台バス停、藤島周辺は、藤島バス停、藤島団地バス停、藤島団地中バス停（現況値）、とみづかバス停

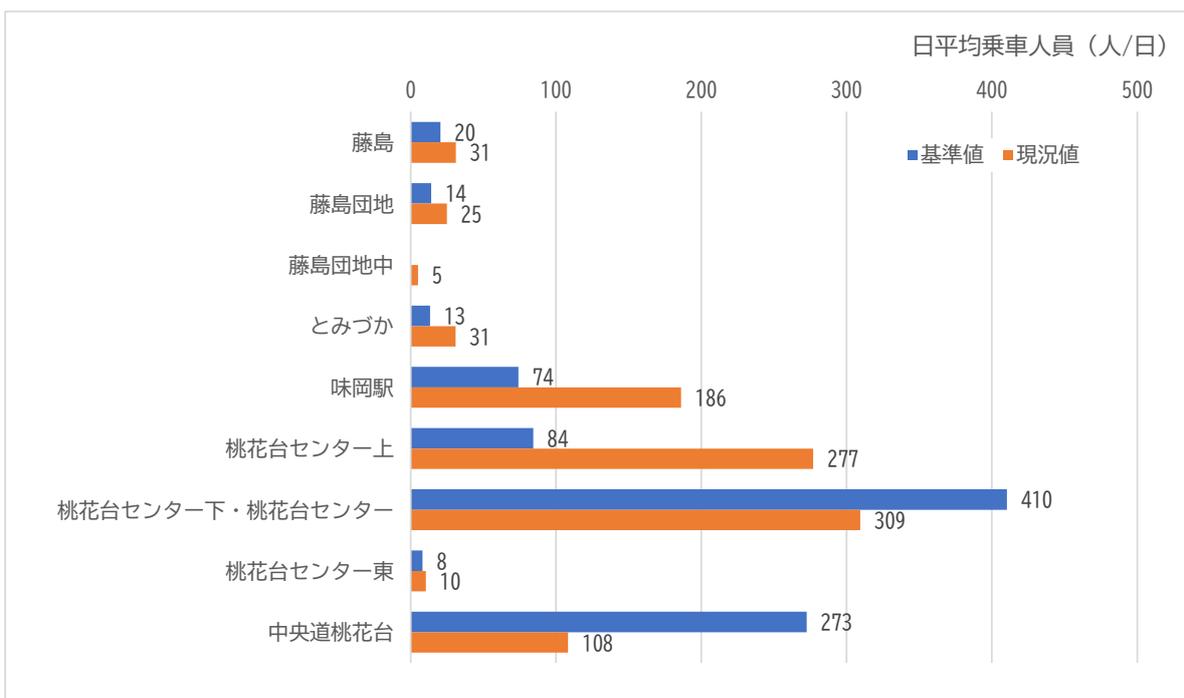
中心拠点におけるバス停別の日平均乗車人員は、小牧駅や小牧市民病院で 200 人/日以上が増加がみられることから、令和 2 年 12 月のこまくるの再編による利便性の向上のほか、交通結節点機能の強化や待合環境の充実による効果が考えられます。

図 中心拠点におけるバス停別の日平均乗車人員の推移



地域拠点におけるバス停別の日平均乗車人員は、藤島地区、味岡駅、桃花台センター上では増加している一方、桃花台センター下・桃花台センター、中央道桃花台では減少がみられます。藤島地区、味岡駅、桃花台センター上での利用者数の増加は、令和 2 年のこまくるの再編の影響が考えられます。また、桃花台センター下・桃花台センターや中央道桃花台での利用者数が減少は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少に伴うダイヤの変更等の影響が考えられますが、乗り継ぎをより円滑にし、交通結節機能を強化するため、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリーの集約等の対策が必要です。

図 地域拠点におけるバス停別の日平均乗車人員の推移



将来像 2 持続可能な交通体系

基本方針 2-① 自動車交通に偏りすぎない環境にやさしい交通体系の構築

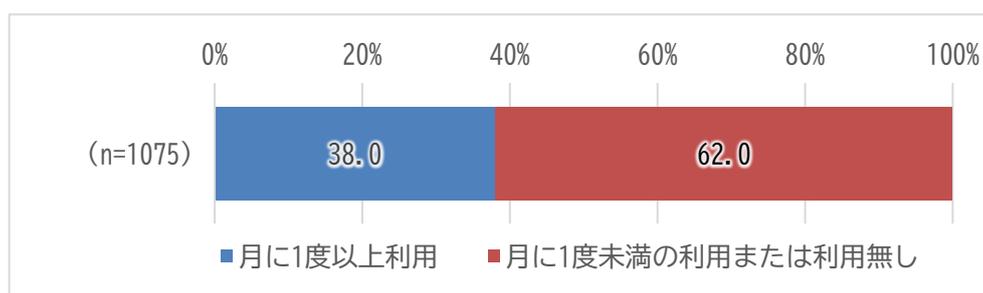
<目標 2-1-1> 公共交通の利用頻度の増加

評価指標:公共交通(鉄道、路線バス、こまき巡回バス、タクシー)を月に1回以上の利用をする人の割合^{※6}

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
公共交通を月に1回以上の利用をする人の割合	47.0%	38.0%	48.0%	×

公共交通(鉄道、路線バス、こまき巡回バス、タクシー)を月に1回以上の利用をする人の割合は38.0%となっており、基準値を下回っています。

図 公共交通を月に1回以上利用する人の割合



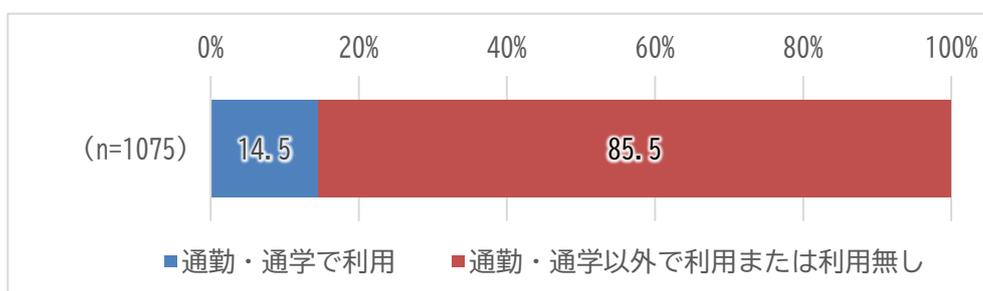
<目標 2-1-2> 通勤・通学目的での公共交通利用者割合の増加

評価指標:公共交通(鉄道、路線バス、こまき巡回バス)を通勤または通学目的で利用する人の割合^{※7}

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
公共交通を通勤または通学目的で利用する人の割合	15.1%	14.5%	15.4%	×

公共交通(鉄道、路線バス、こまき巡回バス)を通勤または通学目的で利用する人の割合は14.5%となっており、基準値を下回っています。

図 公共交通を通勤・通学で利用する人の割合

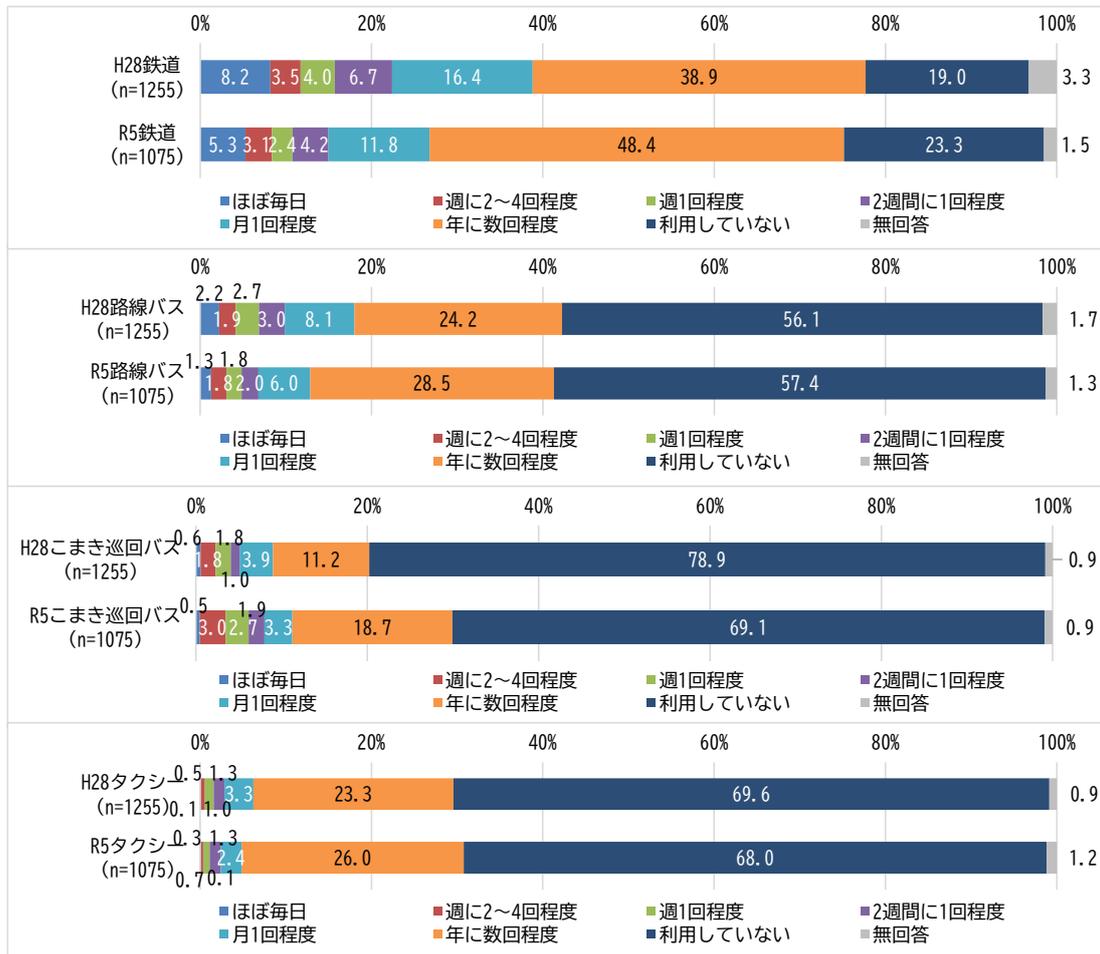


※6: 基準値と現況値は、市民アンケートの公共交通(鉄道、路線バス(ピーチバス、桃花台バス、名鉄バス等)、こまき巡回バス、タクシー)の利用頻度をたずねる設問において、1つ以上の設問で「ほぼ毎日、週2~4回程度、週1回程度、2週間に1回程度、月1回程度」のいずれかを回答した方が占める割合。

※7: 基準値と現況値は、市民アンケートの公共交通(鉄道、路線バス(ピーチバス、桃花台バス、名鉄バス等)、こまき巡回バス)の主な利用目的をたずねる設問において、1つ以上の設問で選択肢「通勤、通学」のいずれかを回答した方が占める割合。

各公共交通の月1回以上の利用はこまき巡回バスを除き減少していることから、コロナ禍を受けて変化したライフスタイルや就業・就学環境等により、公共交通を利用した移動が減少しているといえます。

図 H28 及び R5 市民アンケート 各公共交通の利用頻度



基本方針 2-② 経済的に維持が可能で、安定的・持続的な交通サービスが提供できる交通体系の構築
 <目標 2-2> 市補助路線及びこまき巡回バスの収支率の改善

評価指標:市補助路線及びこまき巡回バスの収支率※8

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
間内・岩倉線 (名鉄バス)	28.5%	30.1%	32.2%	△
こまくる	4.5%	4.8%	9.2%	△

市補助路線及びこまき巡回バスの収支率は間内・岩倉線 (名鉄バス) で 30.1%、こまき巡回バスで 4.8% となっており、どちらも目標は達成していないが基準値を上回っています。

間内・岩倉線では利用者数の増加による収入の増加が考えられます。

こまくるでは、車体広告の増設や社内デジタルサイネージ広告の導入等による広告収入の増加が考えられます。

※8：基準値と現況値は、間内・岩倉線とこまき巡回バスそれぞれの料金収入を運行経費で割った割合。

将来像3 地域を支える交通体系

基本方針3-① 行政による必要最低限の交通サービスの提供

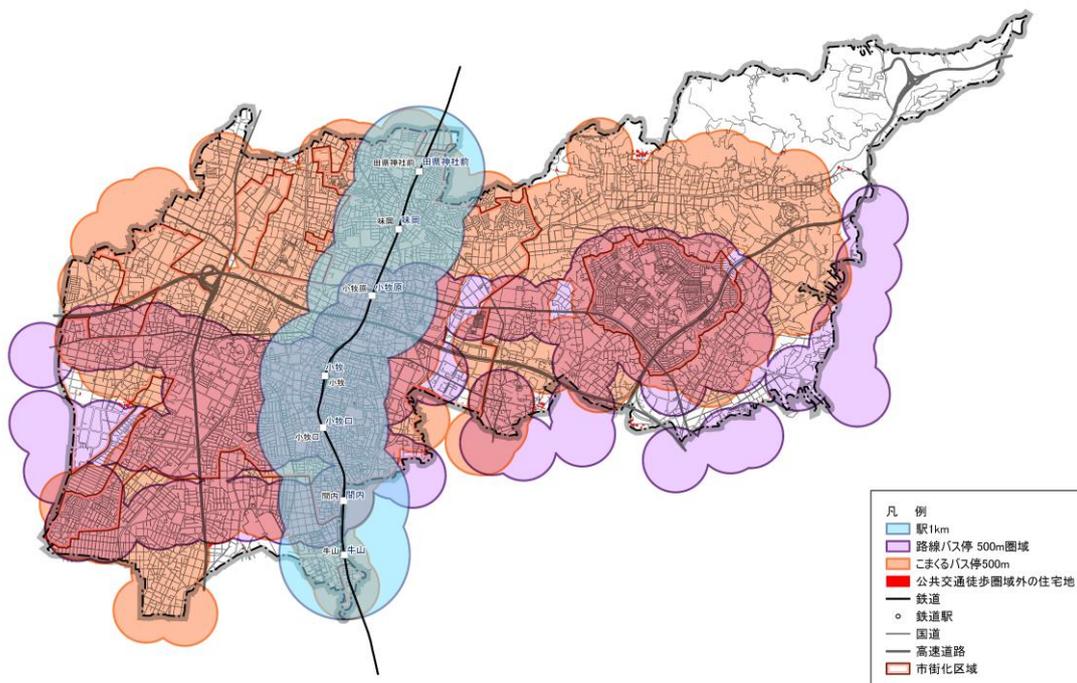
<目標3-1> 公共交通徒歩圏域人口カバー率の維持

評価指標:公共交通徒歩圏域人口カバー率※9

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
公共交通徒歩圏域人口カバー率	99.3%	99.2%	100%	×

公共交通徒歩圏域人口カバー率は99.2%となっており、基準値より0.1%下回っています。名鉄バス桃山線の廃止等の影響が考えられます。

図 鉄道・バス徒歩圏域（こまくる令和5年6月1日改編後）



※9：基準値は鉄道駅から半径1km以内及びバス停（平成28年時点）から半径500m以内を公共交通徒歩圏域とし、平成22年国勢調査における夜間人口を用いて算出。現況値は、鉄道駅から半径1km以内及びバス停（こまくる令和5年6月1日改編後）から半径500m以内を公共交通徒歩圏域（図 鉄道・バス徒歩圏域を参照）とし、令和2年国勢調査における夜間人口を用いて算出。

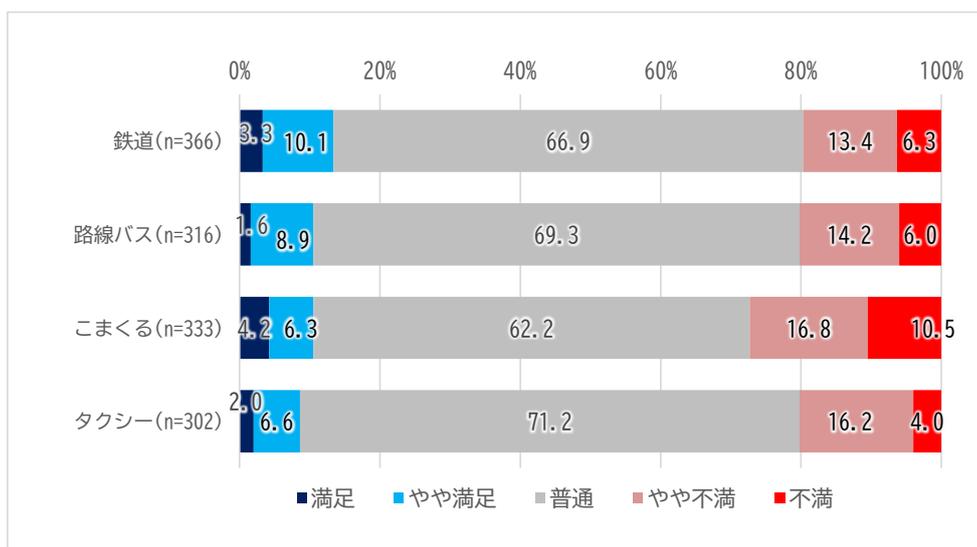
基本方針3-② 高齢者や障がい者等の移動制約者を含む全ての人が利用しやすい交通体系の構築
 <目標3-2> 高齢者や障がい者等の公共交通に対する不満足度の改善

評価指標:高齢者の公共交通に対する不満足度※10

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
鉄道	33.4%	19.7%	28.7%	○
路線バス	36.5%	20.2%	33.0%	○
こまくる	33.1%	27.3%	30.0%	○
タクシー	35.6%	20.2%	34.1%	○

高齢者（65歳以上）の公共交通に対する不満足度（やや不満＋不満）は鉄道が19.7%、路線バスが20.2%、こまき巡回バスが27.3%、タクシーが20.2%となっており、目標値を下回っています。引き続き全ての人が利用しやすい交通体系の構築を図る必要があります。

図 高齢者（65歳以上）の公共交通に対する不満足度の割合



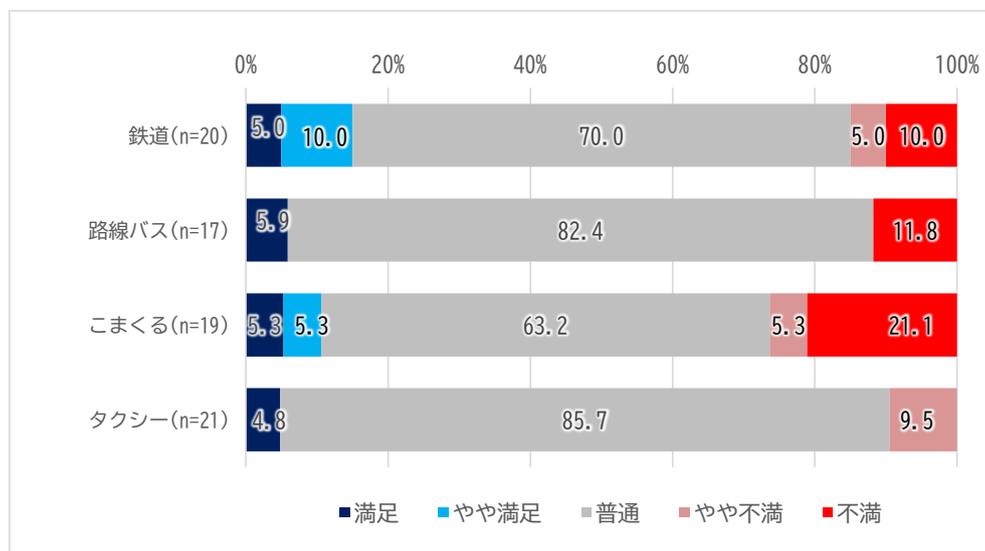
※10：市民アンケートの年齢をたずねる設問において、基準値では選択肢「65～69歳、70歳以上」のいずれか、現況値では選択肢「65～69歳、70～74歳、75～79歳、80～84歳、85歳以上」のいずれかを回答した方のうち、基準値では交通手段（鉄道、こまき巡回バス、路線バス、タクシー）の満足度をたずねる設問において、現況値では公共交通（鉄道、こまき巡回バス、路線バス、タクシー）の総合的な満足度をたずねる設問において、選択肢「やや不満、不満」のいずれかを回答した方が占める割合。

評価指標：障がい者等の公共交通に対する不満足度※11

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
鉄道	39.4%	15.0%	33.3%	○
路線バス	48.4%	11.8%	41.9%	○
こまくる	34.4%	26.4%	28.1%	○
タクシー	35.5%	9.5%	32.3%	○

障がい者（人の介助があれば乗降できる、車イスのままであれば乗降できる、鉄道やバスの利用は難しいのいずれか）の公共交通に対する不満足度（やや不満＋不満）は鉄道が15.0%、路線バスが11.8%、こまき巡回バスが26.4%、タクシーが9.5%となっており、いずれも目標値を下回っています。引き続き全ての人が利用しやすい交通体系の構築を図る必要があります。

図 障がい者の公共交通に対する不満足度の割合



※11：市民アンケートの鉄道やバスを不自由なく乗り降りすることができるかたずねる設問において、選択肢「人の介助があれば乗降できる、車イスのままであれば乗降できる、鉄道やバスの利用は難しい」のいずれかを回答した方のうち、基準値では交通手段（鉄道、こまき巡回バス、路線バス、タクシー）の満足度をたずねる設問において、現況値では公共交通（鉄道、こまき巡回バス、路線バス、タクシー）の総合的な満足度をたずねる設問において、選択肢「やや不満、不満」のいずれかを回答した方が占める割合。

将来像4 交流を促す交通体系

基本方針4-① 周辺都市と連携する交通体系の構築

<目標4-1-1> 市外への乗り継ぎ利用者のバスに対する不満足度の改善

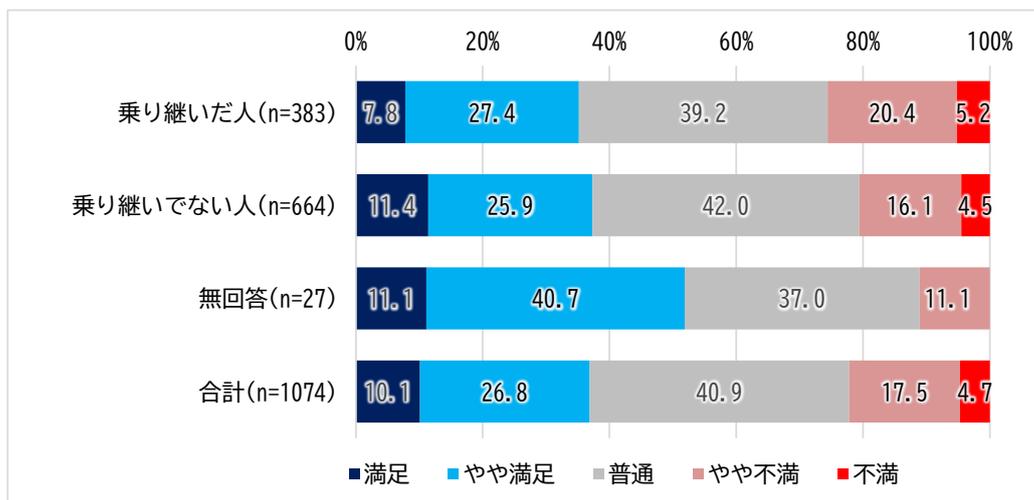
評価指標:鉄道または高速バスへ乗り継ぐバス利用者のバスに対する不満足度^{※12}

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
鉄道または高速バスへ乗り継ぐバス利用者のバスに対する不満足度	17.4%	25.6%	12.7%	×

鉄道または高速バスへ乗り継ぐバス利用者のバスに対する不満足度（やや不満＋不満）は25.6%となっており、基準値を上回っています。

なお、満足度（やや満足＋満足）は35.2%となっており、不満足度（やや不満＋不満）を上回っています。

図 市外への乗り継ぎ利用者のバスに対する不満足度の割合



※12: 基準値と現況値は、路線バス利用者ヒアリング調査及びこまくる利用者ヒアリング調査の当日の乗り継ぎをたずねる設問において、選択肢「名鉄小牧線、名鉄犬山線、JR中央本線、近距離高速バス 名古屋桃花台線」のいずれかを回答した方のうち、バスの総合的な満足度をたずねる設問において、選択肢「やや不満、不満」のいずれかを回答した方の占める割合。

鉄道または高速バスへ乗り継ぐバス利用者のバスに対する不満足度が改善されていない理由として、こまくる及び路線バスの満足度において「⑩バス停の待合環境」、「⑱乗り継ぎの際の待ち時間」等は満足度（やや満足＋満足）の割合が低く、不満足度（やや不満＋不満）の割合が高いことが挙げられることから、バス停の待合環境の改善や乗り継ぎを考慮したダイヤの設定に取り組んでいく必要があります。

図 R5利用者アンケート<こまくる>
こまくるのサービスや乗り継ぎに関する満足度（【資料1】より再掲）

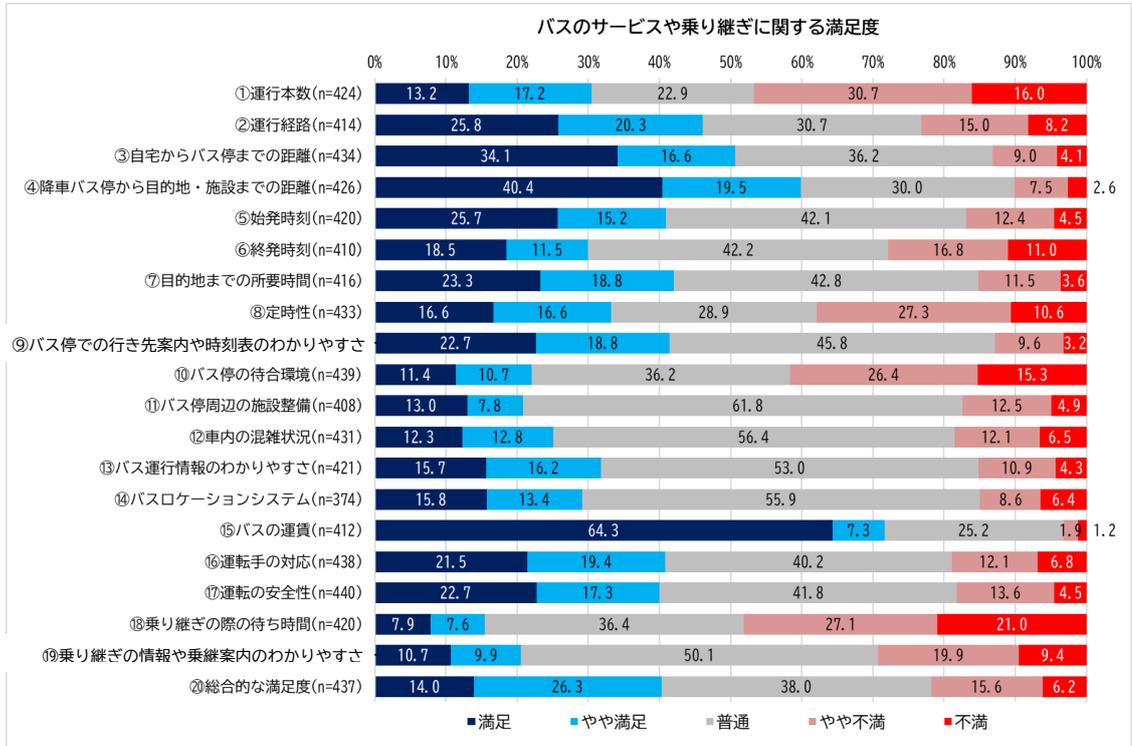
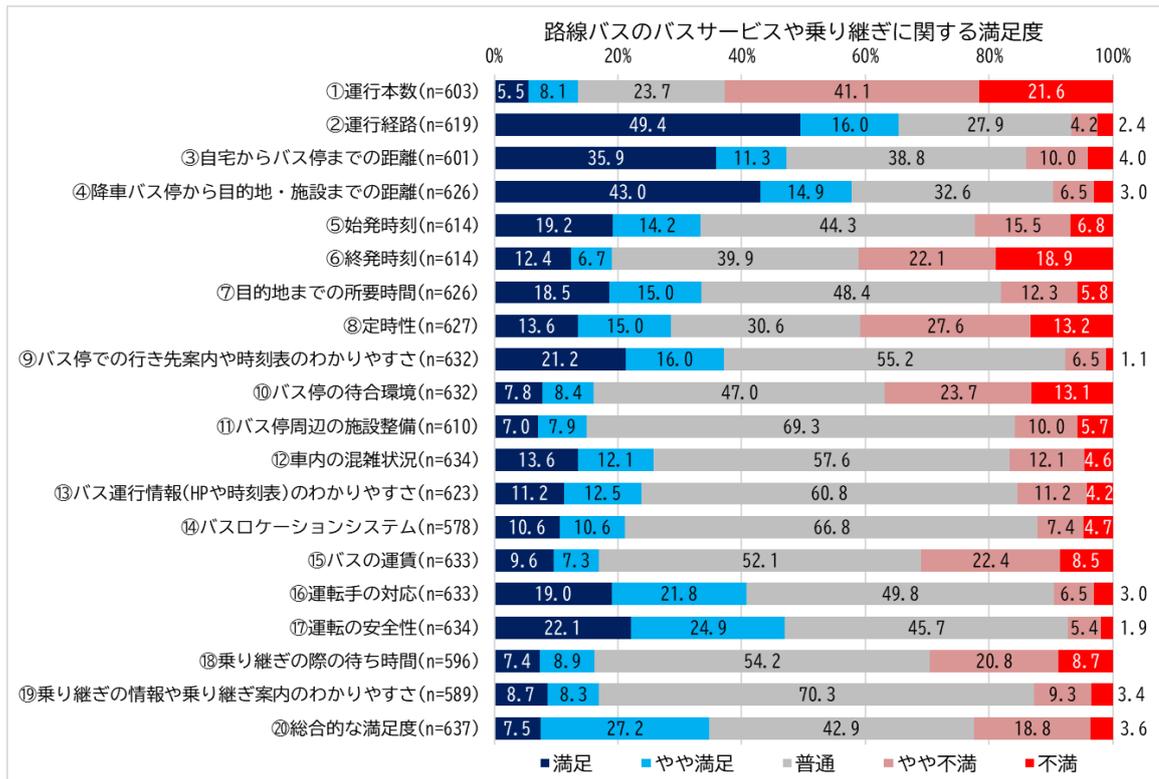


図 R5利用者アンケート<路線バス>
路線バスのサービスや乗り継ぎに関する満足度（【資料1】より再掲）



<目標 4-1-2> 小牧市内の各拠点から名古屋市への移動時間の短縮

評価指標:小牧市内の各拠点から名古屋駅への移動時間※13、※14

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
小牧駅周辺	約 41 分	約 42 分	約 41 分以内	×
味岡駅周辺	約 48 分	約 49 分	約 48 分以内	×
桃花台センター地区	約 55 分	約 58 分	約 55 分以内	×
藤島地区	約 36 分	約 33 分	約 36 分以内	○

小牧市内の各拠点から名古屋駅への移動時間は、小牧駅周辺及び味岡駅周辺からは約 1 分、桃花台センター地区からは約 3 分長くなっている一方、藤島地区からは約 3 分短縮されています。移動時間は一日の各時間帯の移動時間の平均値としており変化はないが、バス等のダイヤ改正による乗り継ぎ時間の変化によるものと考えられます。

基本方針 4-② 観光需要にも対応した交通サービスの提供

<目標 4-2> 観光施設の最寄り駅・最寄りバス停の乗車人数の増加

評価指標:主要観光施設の最寄り駅・最寄りバス停の日平均乗車人数※15、※16

項目	基準値	現況値 (R5)	目標値	評価
主要観光施設の最寄り駅・最寄りバス停の日平均乗車人数	2,471 人/日	2,705 人/日	2,946 人/日	△

主要観光施設の最寄り駅・最寄りバス停の日平均乗車人数は 2,705 人/日となっており、目標値を達成していないが基準値を上回っています。

乗車人数の多くは、名鉄小牧線田県神社前駅の利用者ではあるものの、イベント時の公共交通全般の利用の促進や小牧山や市民四季の森など、観光・レジャー施設を考慮したルート、ダイヤの設定により利用者が増加したことが考えられます。

※13: 基準値と現況値は、小牧駅から名古屋駅（小牧駅～平安通駅～栄駅～名古屋駅）、味岡駅から名古屋駅（味岡駅～平安通駅～栄駅～名古屋駅）、桃花台センターバス停から名古屋駅（桃花台センターバス停～春日井駅～名古屋駅）、藤島団地バス停から名古屋駅（藤島団地バス停～岩倉駅～名古屋駅）の乗継時間を含める所要時間。

※14: 所要時間は小牧市内から名古屋駅（JR名古屋駅、名鉄名古屋駅、名鉄バスセンター）方向の移動として、検索サイト「バス NAVITIME」、「駅すばあと」、名鉄バスホームページ、こまき巡回バス時刻表にて所要時間を調査。

※15: 基準値と現況値は、日平均乗車人数は鉄道（名鉄小牧線）、路線バス（ピーチバス、名鉄バス）、こまき巡回バス、高速バス（近距離高速バス）の合計値であり、基準値の鉄道及び高速バスは事業者提供資料、路線バス及びこまき巡回バスはバス利用者ヒアリング調査結果より算出（鉄道の乗車人数は年間乗車人数を用いた平均値、高速バスの乗車人数は年間利用者数を用いた平均値、路線バスの乗車人数は平成 28 年 9 月 26 日の実績値、こまき巡回バスの乗車人数は平成 28 年 9 月 4 日～9 月 10 日の平均値。現況値の鉄道及び高速バスは事業者提供資料、路線バスの利用者数は令和 5 年 11 月 17 日～27 日の平均値、こまき巡回バスの利用者数は事業者提供資料（令和 4 年 12 月～令和 5 年 11 月）を集計。

※16: 小牧市内の主要観光施設（図 主要観光施設と公共交通網を参照）の最寄り駅または最寄りバス停（小牧市役所前バス停、小牧山前バス停（現況値）、メナード美術館前バス停、温水プール前バス停（基準値）、パークアリーナ小牧バス停、田県神社前駅、田県神社前バス停（現況値）、田県神社前駅バス停、市民四季の森バス停、市民四季の森南バス停（現況値））。

表 主要観光施設における最寄りバス停別及び名鉄小牧線田県神社前駅の日平均乗車人員

対象	日平均乗車人員	基準値	現況値
路線バス	小牧市役所前	69	24
路線バス	メナード美術館前	4	16
こまき巡回バス	小牧市役所	165	103
こまき巡回バス	小牧市役所西	5	-
こまき巡回バス	メナード美術館前	17	28
こまき巡回バス	温水プール前	14	1
こまき巡回バス	パークアリーナ小牧	7	17
こまき巡回バス	市民四季の森	3	5
こまき巡回バス	市民四季の森南	-	4
こまき巡回バス	田県神社前駅	2	4
こまき巡回バス	田県神社前	-	4
こまき巡回バス	小牧山前	-	126
名鉄小牧線	田県神社前駅	2,185	2,373
合計		2,471	2,705

主要観光施設における最寄りバス停別及び名鉄小牧線田県神社前駅の日平均乗車人員は、田県神社前駅の利用者数が 188 人/日増加しているほか、小牧市役所前・小牧市役所・小牧山前バス停を合わせて 19 人/日の利用者数の増加がみられることから、令和 2 年 12 月のこまくる再編による利便性の向上のほか、小牧山の施設や広場の整備等の効果が考えられます。